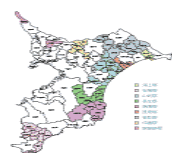


# 隊友千葉だより



千葉県隊友会事務局  
事務所開所時間  
月・水・金  
10:00~15:00

## 三年ぶりの部隊研修

令和四年度部隊研修は、令和五年二月二十七日（月）、陸上自衛隊第一ヘリコプター団（木更津駐屯地）の全面支援を受けて、大盛況のうちに終了しました。コロナ禍、三年ぶりの開催となった本研修には、神原会長以下、六十九名の会員・協力者に参加いただきました。

研修に先立ち、第一ヘリコプター団長兼木更津駐屯地司令 廣瀬俊彦陸将補を表敬し、本研修の御礼とともに、隊友会への入会促進等の協力を依頼しました。

その後、同駐屯地所在部隊が保有する最新鋭のV-122（オスプレイ）及び大型空輸送ヘリコプターCH-47J（チヌーク）の概要説明を皮切りに実機をつぶさに研修することが出来ました。

廣瀬木更津駐屯地司令を表敬する神原会長ら↓



三年ぶりの部隊研修に大満足の参加者↓



入会説明会には多く隊員に参加いただきました↓



滑走路では、各種ヘリコプターが間近で離発着訓練を行っており、久しぶりの部隊研修に参加者も満喫しているようでした。

続いて行われた「隊友会入会説明会」には、退官予定者をはじめとより、部隊長、業務担当者約三十名に参加いただき、神原会長の挨拶に引き続き、大根事務局長より、隊友会の概要説明及び入会依頼を行いました。コロナと定年延長等の影響から、会員入会数が伸び悩む中、会勢の向上の一助となったものと思われまふ。

説明会終了後、駐屯地所在部隊長と、神原会長、青木・菊地副会長、森（船橋）・今瀬（千葉中央）支部長等が一堂に会し、意見交換を行うことが出来、好天にも恵まれ、充実した成果を得て、本研修を無事に終える事が出来ました。各支部、会員のご協力に感謝申し上げます。（担当…梁池）

## 事務局からのお知らせ

◇令和5年度分「会費」および「会運営協力金（寄付）」について

令和5年度分「会費」・「会運営協力金（寄付）」について納付・ご協力いただき、感謝申し上げます。会費については未だ未納の会員は今年度末までに振り込みをお願いします。

会運営協力金（寄付）につきましては、入会から10年経過し65歳以上の会員に毎年お願いしています。会員の高齢化、新入会員の減少等、近年の状況から千葉県隊友会の安定した活動および発展に欠かせない大きな財政基盤となっております。趣旨をご理解いただき、一層のご協力をお願い申し上げます。

◇令和5年度通常総会および防衛講話開催

四月十九日（水）十三時半から「三井ガーデンホテル千葉」にて「令和5年度通常総会」を開催します。総会における議案（令和四年度事業・会計報告、令和五年度事業計画・予算（案）、役員交代）の要約を掲載します。総会に参加されない会員は、規約第四十九条に基づき、支部長指名の代理人への委任になります。総会終了後に防衛講演会を開催いたします。会員皆様、是非ご参加下さい。

・時間…十五時四十分〜十七時

・場所…三井ガーデンホテル千葉

（千葉市中央区中央1-11-1）

・講師…ナザレンコ・アンドリー氏

（在日ウクライナ人 外交評論家）

『ウクライナの現実と日本への警鐘』

令和五年度総会における議案（要約）

【第一号議案】令和四年度事業報告（案）全般

令和4年度は、新型引コロナウィルスの感染拡大防止のため昨年度に続き活動に影響を受けたが、後半は徐々に制限が緩和されたことにより、部隊行事への参加および部隊と連携した活動を再開できた。

県計画および支部計画の慰霊顕彰関連事業は概ね計画とおり実施できた。

しかしながら、会勢拡大、特に新入会員の確保については、入会説明会などを実施したが、前年度並みの成果であり大きく回復しなかった。地方自治体等への協力

8月に実施された九都県市防災訓練において、県の防災備蓄倉庫（山武地域防災備蓄倉庫・葛南地域防災備蓄倉庫・西部防災センター）からの物資搬出の実働訓練に、山武東金（7名）・船橋（7名）・習志野（2名）・市川支部（1名）・県本部（1名）合計23名が参加。

自衛隊の諸業務・活動に対する協力・支援

災害情報連絡員体制を維持（14個支部）

関係支部は、習志野駐屯地・松戸駐屯地・下志津駐屯地からの要望に応じて家族支援に協力。また、習志野・若葉支部要員は統合防災訓練に参加。

松戸・習志野駐屯地において引越し相談会を開催、また各駐屯地・基地にチラシを配布し、隊員71名の引越し合見積もりを支援。成約に伴う還付金を関係支部に助成。

講演会・隊友紙の配布等

県は、総会に接続し防衛講演会を開催。また山武東金支部、四街道支部、安房支部および沼南支部は、会員の他、市民を招待し防衛講演会を開催。

会員に隊友新聞を配布（手配り53%、郵送33%）

慰霊顕彰事業

護国神社春秋大祭への協力（清掃ご奉仕・浄財等奉納） 県本部計画により、春の大祭には会長が参加、秋の大祭には会長以下8名が参加するとともに玉串料を奉納。また、秋の大祭前には12名の会員により清掃活動を実施。神社の桜木町移転に伴い、前期支部長会議を神社会議室で実施するとともに参加者全員で合同参拝を実施。

県本部の計画により、10月に近隣支部から31名の参加を得て千葉県追悼式会場（下志津駐屯地「鎮の庭」）の整備を修親会とともに実施。追悼式には会長が参列するとともに千葉県隊友会から供花をお供えした。

護国神社内の「特攻勇士の像慰霊祭」に協力。また、7コ支部（柏・鎌ヶ谷・我孫子・館山・夷隅・八街・船橋）は、地元所在の戦没者慰霊碑等の清掃及び慰霊行事に参加。

会勢の充実

令和四年度（二月末）の正会員は、令和三年度末の正会員から四十一名の減少。特別会員は、十六名増加し、一一三名となった。入会者数は昨年度並みで、令和元年度入会者数から37%減であり入会者低迷が継続。

年度後半、下志津駐屯地、峯岡山分屯地、松戸駐屯地、木更津駐屯地および習志野駐屯地（三月予定）で入会説明会を実施し即日入会を依頼。

海自下総基地における中級管理講習および陸自下志津駐屯地で退職予定隊員教育において、隊友会活動等の説明を実施。

会活動の活性化

徐々に関催されてきた駐屯地・基地記念行事等に参加し、隊員の隊友会入会を依頼。

木更津駐屯地第一ヘリコプター団の協力を得て、会員、特別会員等69名が参加し、オスプレイ等を研修。

「千葉だより」を4回/年度発行し、会員に配布。また、支部計画で支部だよりを発行。

○ 県会長表彰として9名・1コ支部表彰。隊友会本部から表彰状5名・感謝状各1名授賞。

財務基盤改善の強化

○ 年会員五八三名（85%）から会費納入、終身会員に会運営協力金（寄付）を依頼し、六四八名（33%）から協力を得た。管理費の節約、督促による会費増、事業収益増により収支は昨年度に比し改善。

会員の福利厚生

○ 会員、親族を対象とした葬祭、商品購入等の割引情報を提供。

○ 会員の訃報に接した際は、支部長の要望に応じて速やかに顕彰状を贈呈。

その他

○ 四街道支部は「美しい日本の憲法をつくる四街道市民の会」に協賛。

【第二号議案】令和四年度会計報告（案）略

会員には県隊友千葉だよりで配布済

【第三号議案】令和五年度事業計画（案）方針

県隊友会は、県民と自衛隊とのかけ橋として相互の理解を深めるとともに、防衛意識の普及高揚に努め、国の防衛及び防災施策、自衛隊諸業務などに対する協力・支援、慰霊顕彰事業並びに地域の健全な発展に寄与する事業を積極的に推進し、財務基盤の構築に寄与する。

このため、公益目的事業の更なる充実および若手会員の事業・行事への参画を促し、会活動の活性化を図るとともに、会勢の維持・拡大、特に新入会員の入会促進を図り会基盤の充実を図る。この際、会員の福利と親睦のための事業を継続しつつ会の魅力化に努める。

活動にあたっては新型コロナウイルス感染症の長期化を想定したWHECコロナ時代に適合した活動に留意する。

◆地方自治体への協力

○平素から県の要望に応じ、災害対策本部等の訓練に参加する。各支部は地域振興事務所等と連携し、物資の払出しに係わる訓練に協力。

◆自衛隊の諸業務・活動に対する協力・支援

○会員の知見や技能を生かし、隊員の募集・就職支援等の自衛隊の業務に協力。併せて、各駐屯地のアウトソーシング関連について会員に周知し募集に協力

○災害情報連絡員制度を維持し、自衛隊への災害情報を通報するとともに自衛隊が実施する災害派遣活動等に対して、慰問・激励を実施。

○各支部は、新たな家族支援要望に対応するとともに、海空自衛隊部隊の要望に応じて家族会と連携して海空自衛隊員の家族支援について検討。

○海空基地も含めてチラシ配布を積極的に行い、引越し合い見積もりを継続して実施。

◆講演会・隊友紙の配布等

○中央の実施する防衛セミナーに参加するとともに、県及び支部において防衛講演会を開催。

○会員に「隊友新聞」を配布するとともに、Web化試行を会員に周知する。特別会員には、併せて「デフエンス」を配布。

◆慰霊顕事業

○殉職自衛隊員追悼式に参列するとともに、追悼式会場の清掃を実施。千葉県護国神社の春・夏大祭に合わせた清掃活動、浄財を奉納。

○「ああ特攻勇士像」慰霊祭に協力。各支部は近傍の慰霊碑・忠魂碑等の維持管理を支援するとともに、慰霊祭等に参列。

◆会勢の拡大

○入会率の向上は喫緊の重要課題との認識の基、入会説明会の開催の他、あらゆる諸施策を推進して即日入会者の増加に努める

○部隊が行う定年前の講習および教育において、隊友会の活動を説明し理解を得る。

○入会会員と早期に接触し退会防止を図る。  
○会員名簿を適時に配布し、県本部と支部との齟齬を無くし現状把握に努める。  
○県理事役を積極的に勧誘して業務を分担する。

◆会活動の活性化

○支部会員の減少、高齢化および限定された会員のみでの活動の現状に鑑み、県本部と支部が連携し若い会員の活動への参画を促進し、支部活動の活性化を図る。

○引続き、「千葉だより」を発行するとともに県ホームページを充実。

○支部が実施する総会、講演会、新聞手配り等に対して経費を助成。

○活動に功績のあった個人・団体を表彰するとともに、隊友会活動にご協力いただいた個人・団体に感謝状を贈呈。

◆財務基盤の強化

○更なる隊友新聞値上げによる支出増を踏まえ、引続き経常経費の節減に努めるとともに、年会費納入率の向上、終身会員への会運営協力金（寄付）の更なる協力を依頼し、健全な財政基盤を構築。経費運用にあつては、特に、支部活動の活性化に繋がる事業を重視。

○厳格な予算執行を行うとともに、隊友会本部の計画に基づき経理用アプリを試行して、効率的な会計処理に努める。

◆県隊友会活動基盤の確立

○事業参加会員数・活動経費の減少傾向を踏まえ、費用対効果の観点から各種業務の実施規模・内容について精査し、県隊友会諸活動の効率的な実施要領、県本部役員業務分担の適正化について、継続的に検討。

○支部長不在支部の解消に努めるとともに、支部長等支部役員の高齢化のため、申し送りおよび世代交代を推進する。

◆会員の福利厚生及び親睦  
○各種保険事業等の本部施策事業、企業の葬祭、商品割引情報等を普及。  
○春・秋の叙勲受章者の紹介、会員死亡における顕彰状等を適時に実施。

◆その他

○「美しい日本の憲法をつくる国・県・市民の会」などの活動に参加。  
○隊友会本部が開催する総会及びブロック研修会に参加。

○支部長等会議は、各種施策の意見提出と効果的な実施、支部活動の活性化及び情報の共有化等のため、7月及び3月に開催。  
この際、理事役会との同時期開催に努める。

○各支部長は、1回/年、支部会員を招集し、支部総会を開催。

【第四号議案】令和五年度予算（案）略  
会員には県隊友千葉だよりで配布済

【第五号議案】役員交代案

- ◆退任
  - 会長 神原誠司
  - 理事役 筒井紀詔
  - 理事役 時久寛司
  - 沼南支部長 満園哈爾男
  - 四街道支部長 中尾英夫
- ◆新任
  - （支部長交代時期…支部所定）
  - 会長 菊地 聡
  - 理事役 加納伸隆
  - 沼南支部長 永岡雅史
  - 四街道支部長 筒井紀詔

【千葉県隊友会事務局】  
〒260-0042  
千葉市中央区椿森1丁目26-9  
コンラッドビル4階  
電話：043-306-2095  
FAX：043-306-2096  
Eメール  
[chibatayuu@angel.ocn.ne.jp](mailto:chibatayuu@angel.ocn.ne.jp)  
ホームページ  
<http://www.chibatayuu.com/>

# ◆安房支部◆

安房支部は、鴨川市・南房総市・鋸南町に在住する会員により構成され、現在の会員は四六名です。空自峯岡山分屯基地が南房総市に所在しておりますが、会員の多くは鴨川市に居住しています。海自館山、陸海空木更津の基地が近在していますが、空自出身会員が約半数を占めるといふ特徴があります。

コロナ禍によりここ三年、恒例の総会・懇親会・新年会など開催できておりませんが、開催しても広域なことと、交通の不便さもあって、鴨川市以外の会員皆様との交流がなかなか難しいのが実情です。さてここで、今年度安房支部活動のトピックを二つ紹介します。

一つは、昨年暮れに会勢拡大のための県隊友会年度計画に従い、空自峯岡山分屯基地において「隊友会入会促進説明会・懇親会」を開催したことです。野田峯岡山分屯基地司令以下五〇名の参加を頂き、隊友会について具体的な説明もあつて、懇親会の席で好印象を確認することができました。本説明会では、神原会長始め県本部から五名の応援参加があり、感謝です。

二つ目は、二月五日の「前参議院議員 宇都隆史氏による防衛講話」の実施です。外菌元空幕長による講師紹介に始まり、演題を「我が国の新たな国家安全保障戦略」とした講話は、まさに時宜に適した世界情勢、防衛戦略上の注目点と政界の動向そして宇都氏本人の近況・抱負など興味の尽きないお話をいただきました。

講演後の懇親会では、長谷川鴨川市長、川名千葉県議、佐々木鴨川市議会議長、そして、神原隊友会長に宇都氏激励のご挨拶を頂き、以後、宇都氏ご夫妻を囲んでの楽しい懇談となりました。四五名の聴講出席者には地元有志が多く、会場の制約から隊友会員の参加が少なくなつてしまつて残念なくらいでした。安房支部は、引き続き会員との交流促進を活動の基本として、自衛隊と市民との交流の懸け橋となるよう努めますので、県隊友会各位からのご指導宜しくお願い致します。安房支部長 三好文雄



元参議院議員 「宇都たかし氏」による防衛講話

# ◆白井支部◆

白井市は県北西部の北総台地上に位置し、令和5年1月末の人口は、6万1千人。千葉ニュータウンの一角を占めています。人口は3年前にピークに達し、現在はそれから1千人ほど減少しています。全国区レベルのような名所名跡も見当たらず、県内においても「しろいの梨」以外はさほどの知名度はなく、「うすい市、しらい市」と読み間違えられることもあります。

白井支部の会員数は、現在50名弱。10年ほど前は、海出身の会員が半数以上だったと記憶しておりますが、現在は陸・海で拮抗しております。白井市は海上自衛隊下総航空基地に隣接しているため、海出身の方の割合が高い支部となっております。最近特に感じるのですが、支部活動に活発に協力して頂いた諸先輩が、次々と鬼籍に入り、反対に新入会員数が減少し、会員数は漸減傾向です。

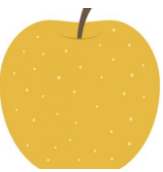
支部活動ですが、この3年間疫病流行のためほとんど活動できておらず、「隊友新聞配付」以外は、隔月の「事務局だより」と年1度の「会員近況だより」の発行に限られております。それまでは、年2度の懇親会（6月総会後の懇親会と新春懇親会）を実施して、市長、地方議員、下総基地群司令等の臨席を仰ぎ和気あいあいと歓談致しておりました。会員諸兄の近況を聞くのも楽しみでした。この3年間は「会員の高齢等に伴う感染の可能性」を考慮し、取り止めざるを得ませんでした。

また、少しでも隊友会の存在が市民に、また現職隊員に見えるようにと思い、約10年前から市環境課関連事業の野外清掃活動にも参加しております。おかげで、市環境課からは毎年参加案内が届くようになり存在を認めていただきましたが、市民、現職隊員にはまだまだの感です。また、市商工会が主催で通年実施している「ふるさと祭り」にある団体とパートナーを組み、ブースを出店してました。わずかですが売り上げ利益を会計に繰り入れ、支部活動の資としておりました。パートナー団体が解散したので、今後は支部単独で出店を考えております。昨年祭りは再開されましたが、課題は「売る物が無い。少しでもいいから利益の出る売り物はないか」ということです。

県会員の皆様、売りに関し良いお知恵がございましたら、ぜひ拝借したいのでご連絡を賜りたいと思います。

白井支部長 増山普一

白井の梨



野外清掃活動参加者 ↓

